

大学生のベースボールビジネスアワード

商学部・奥瀬ゼミ 3年連続優秀賞を受賞



「大学生のベースボールビジネスアワード2011」(主催＝読売新聞東京本社、協力＝読売巨人軍)の表彰式が11月23日、文京区の東京ドームで開催され、商学部・奥瀬ゼミの栗原昌弘さん(以上4年次)、岩田佳子さん、を満足させるイベントを、シーズンを通して開催することで、新規来場者の獲得と、リピーターの増加を目指す。代表の栗原さんは「まず、約4000人を対象にプロ野球観戦にどんな価値観を持っていてのかをアンケートで調査。現状分析に時間をかけてほしいです」と話した。

▲右から上本さん、岩田さん、栗原さん、亀村さん。栗原さんは「まず、約4000人を対象にプロ野球観戦にどんな価値観を持っていてのかをアンケートで調査。現状分析に時間をかけてほしいです」と話した。



▲表彰式で賞状を受け取る上本さん

第51回日本学生経済ゼミ関東部会中央大学大会

経営学部・福原ゼミが特別賞受賞

11月13日、中央大学多摩キャンパスで行われた「第51回日本学生経済ゼミ」関東部会中央大学大会 プレゼンテーション部門本選(日経BP社協賛)で、経営学部・福原康司ゼミ3年次の田中英之さん、橋本泰介さん、坂根祐人さん、末次由紀さんのチームが3位に相当する特別賞を受賞した。福原ゼミの4人は「かさの花が咲きほころぶ未来へ」(Kasaプロジェクト)と題したリアル型レンタル傘のビジネスモデルを提案。「何れながら、プランを練り直しました。テーマが決まるまでが一番大変で、その後は企業へのインタ



福原准教授(中央)と受賞したメンバーたち(右から田中さん、橋本さん、末次さん、坂根さん)

ビュー調査など、フィールドワークに時間を費やしました。悔いの残らないものを作ることができ、自信になりました。とリーダーの田中さん。「第47回大会で本選に出場ながらも入賞できなかった先輩たちの雪辱を果たすためにも、プレゼンの見せ方に力を入れ、商品の見本を準備。審査員からも「完璧なプレゼンだった」と高い評価を得た。メンバーたちは、「アイデアを出し合い、インパクトのあるプレゼンが

18回 辻佳子さんら本学卒業生の 第18回 HEIB 講義 コンサルタントが講演



辻さん

10月28日、生田キャンパスで行われた本年度第18回HEIB講座で、デロイトトーマツコンサルティング(株)に勤務する辻佳子さん(平11商)と千葉友範さん(平12商)が「日本の、日本企業の日本国民を背負う人材を目指す！」をテーマに講演を行った。千葉さんは大学院在中、IT系ベンチャー設



▲講演する千葉さん

「何度もうけそうになりましたが、入賞できてうれしいです」(坂根さん)、「人間的に成長できました」(末次さん)と話した。加藤ゼミは初の本選進出。加藤ゼミとして初の本選出場を果たした牛木さんたちは「持ち運べる農業をキーワードに、「アグリーフロン」を提案し

の現状を紹介。「社会に接して活動していくことで自分の存在価値を確認できる。どんな領域の仕事でもいいから、がむしゃらに働いて能力を身につけ、社会に貢献できる人材を目指してほしい」と後輩にエールを送った。受講した10人の学生を代表して山中彩花さん(商1)は「お二人のお話を聞き、アジアや世界に目を向けていくことが大切だと実感しました」と話した。※HEIB講座は、実社会で役立つ実務能力、女性に必要な資質を磨く女性のための総合教養講座。残り1カ月で今年も終わろうとしている。皆さんにとっての1年はどうだったでしょうか? 3・11の大震災、それに伴う福島原発の崩壊により大きく揺れた1年だったのではないのでしょうか。ニュースなどで大変な現地の様子が映しだされてい



▲本学から10人が参加

登戸・向ヶ丘遊園周辺が散乱防止及び路上喫煙防止重点区域に指定された。12月1日、1周年記念キャンペーンが登戸駅・向ヶ丘遊園駅周辺で行われ、本学学生、職員ら合わせて10人が協力した。川崎市職員、明治大学、日本女子大学の学生らとともに啓発用品を配布してポイ捨て、路上喫煙禁止の呼びかけを行った。



専大生 地域の活性化に協力 神田神保町・富くじ大興行 神田キャンパス付近の商店街が主催する富くじ大興行(靖国通り商店街連合会・北神実業会ほか13商會主催、千代田区後援)が靖国通り神保町交差点で11月11、12の両日行われ、本学から二部学生8人が協力して地域の活性化に貢献。イベントを盛り上げた。富くじの景品には専修大学賞(専大グッズ)も用意された。

漫画研究同好会



あけましておめで...

って、ひと月ほど早いだろう

甘いですがね、テレビなんかじゃ放送日がズレるからひと月前の収録なんて普通ですよ

で、こはテレビ局か? 間違えましたごめんなさい